

2024年各社の戦略

リンナイ株式会社



代表取締役社長
内藤 弘康 氏

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の世界経済は、ようやく新型コロナウイルス感染症の波が収束し、正常化が進みました。しかし一方で、継続的な原材料やエネルギー価格の高騰、金利の上昇、ウクライナ情勢の長期化や中東危機の深刻化など、先行きの見通せない状況も続いております。国内経済においても物価上昇や急激な為替変動などの課題も顕在化しておりますが、個人消費は回復傾向にあり、インバウンドも好調と明るい兆しも見えてまいりました。

このような中で、お客様の価値観やライフスタイルは多様化しており、「新しい時代の暮らし方」を模索する潮流が生まれています。リンナイはこうしたニーズに寄り添い、独自の技術と発想を活かして暮らしに驚きと感動をお届けする商品やサービスの開発・展開に取り組み、健全で上質な暮らしの実現を目指してまいります。

「Creating a healthier way of living」リンナイは健全で心地よい暮らし方を創造します

創業103年目を迎えた当社は現在、これからの100年に向けた新たな中期経営計画「New ERA 2025」を推進しております。「熱と暮らし」「健康と暮らし」の分野において、あらゆる熱エネルギーを活用しながら世界の社会課題解決に貢献することで、お客様との約束である「Creating a healthier way of living (健全で心地よい暮らし方を創造)」の実現と持続的で堅実な長期成長を目指してまいります。

重点商品として、厨房分野では、独自開発のアプリ「+R RECIPE」と、「DELICIA (デリシア)」や「Lisse (リッセ)」といったビルトインコンロの連携による簡単便利なオート調理が注目を集めています。料理のプロが監修したレシピや特集記事などを週3回継続配信しており、多くのお客様の食生活に新たな楽しさと美味しさを提供しております。共働き世帯の増加や生活様式の変化に伴い好調なのが、昨年7月に10年ぶりにフルモデルチェンジをしたデラックスタイプのガス衣類乾燥機「乾太くん」です。デザイン性やお手入れのしやすさも改善し、生活の質の向上に貢献します。

そしてカーボンニュートラル実現に向けた取り組みも欠かせません。業界の目標である2030年度までに高効率給湯器3,050万台販売を喫緊の課題と捉え、「エコジョーズ」の拡販に全力を注いでまいります。

また次世代を担う環境性能商品の代表として、ハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE (エコワン)」のラインアップ拡充や普及促進にも努めてまいります。その上でエアバブルテクノロジー搭載の給湯器の開発、拡販などにも注力し、環境対策と豊かで上質な暮らしの両立を目指す所存です。

末筆ながら、皆様方のご活躍 ご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



NEW

ECO ONE X5シリーズに
既設の屋外コンセントが使用できる
プラグインモデル登場。



くわしくは
こちらから

Rinnai

リンナイ株式会社 本社/〒454-0802 名古屋市千川区福住町2番26号

<https://www.rinnai.co.jp>

YKK AP株式会社



代表取締役社長
魚津 彰 氏

明けましておめでとうございます。

昨年日本国内は、資材価格高騰の継続と円安が進行する中、住宅価格の高騰が継続し新設住宅着工戸数は前年を下回りましたが、3省連携による住宅省エネ2023キャンペーンにより、リフォーム需要は旺盛に推移しました。このような状況の中、国内の住宅事業では、樹脂窓・アルミ樹脂複合窓に加えて、樹脂内窓を中心としたリフォーム商品の販売が好調となり、ビル事業では新築・改装分野ともに販売が好調に推移しました。

2024年は、国内では新設住宅着工戸数が減少すると推測しており、リフォーム市場は住宅省エネキャンペーンの継続などを受けて緩やかに増加する見通しです。原材料・資材については、価格高騰が継続するとともに、物流の2024年問題による国内運賃の上昇が見込まれます。ウクライナ情勢・パレスチナ情勢等によるサプライチェーンへの影響、各国の金利政策や為替の値動きにも注視が必要です。YKK APでは引き続き、原材料・資材の安定調達、更なるコストダウンにも取り組んでまいります。2023年4月に新経営体制となり、「2030年にありたい姿、あるべき姿」としてビジョン「Evolution 2030」を掲げました。ビジョンを見据えながら、更なる成長を図ってまいります。

社会課題に対応する商品やサービスの展開

国内では引き続き、気候変動や災害に対する備え、人口動態の変化への対応、健康・快適/安全・安心への貢献等の社会課題に対応する商品やサービスの展開に力を注いでまいります。住宅事業においては、カーボンニュートラル実現に向けた住宅の省エネ化に貢献すべく、窓の高断熱化を更に推進します。新築分野では新たに断熱性能が高く木の風合いを活かした重厚感のある木製窓を発売します。増改築分野では樹脂内窓の製造供給体制を更に強化し、需要に応じていきます。エクステリア事業では、建物外構まるごとデザインと商品提案力の向上によりトータルコーディネート提案を強化してまいります。ビル事業においては、アルミ樹脂複合窓を発売し、ビルの高断熱化を推進するとともに、改装分野の強化にも取り組めます。

YKK APはこれまで、モノづくりと品質にこだわって事業を進めてまいりました。2024年におきましても、当社のパーパス「Architectural Productsで社会を幸せにする会社。」を実現するため、品質にこだわり、お届けする商品を通じて健康で快適な暮らしをご提案することで、より幸せな社会に貢献していきたいと考えております。より一層のご支援とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



プロが
自宅に選ぶ窓

高性能樹脂窓

APW®

高性能トリプルガラス樹脂窓 APW® 430 高性能樹脂窓 APW® 330 YKK AP